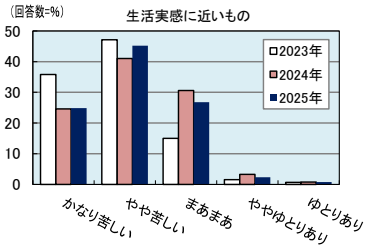
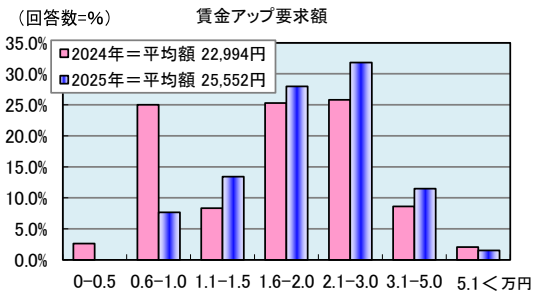
25春闘要求案①
【16-03中央委員会議案】

JLUニュース
No 987（16－26）
航空連 日本航空ユニオン
中央執行委員会
2025年 1月 23日
Tel：03−5756−8690 URL http://www.jlu.co.jp e−mail honbu@jlu.co.jp

ベア6%と一時金の改善で実質賃金を向上

１月17日、中央執行委員会で25春闘要求案を決定しました。要求は、職場の声も踏まえて２月４日中央委員会で決定します。＊アンダーラインは昨春闘以降の新要求･修正要求案です。

要求（案）項目	現行･根拠等
1. 賃金･手当に関する要求 (1)賃金に関する要求 ①JAL グループ全社員の賃金を永く安心して働ける水準に引き上げること。 ②業務企画職･整備技術職の基本給を定昇後6%引き上げること。 ③賃金制度について、相対評価や賃金頭打ちなど、安全にも影響を与える人事賃金制度を見直し、評価結果は労組に開示すること。 ④2,3 等級上限金額に到達した翌年には等級移行を行うこと。 ⑤昇格実態について、職場間格差を是正すること。 **【①、⑤は日航労連統一要求案】**	・経団連や連合などから賃上げ率が具体的に示されていますが、組合としては春闘アンケートを元に要求を作成し、会社に求めていく姿勢は変わりません。 ・2024 年は 12,000 円のベアがありましたが、物価高騰も続きました。また前年の年収増で住民税が増えた人もいます。大幅賃上げが続かないと生活は改善しません。 ・アンケートのベースアップの項目では、1万円以下が大幅に減り、2万円、3万円が増えたため平均額も上昇しています。昨年以上のベアを期待していることがわかります。  ・団交では、ベアは物価を含めた世間動向と会社状況を総合的に踏まえて判断すると説明しています。賃上げ基調が2年続いているものの、物価上昇を差し引いた「実質賃金」は、一時金の支給月以外はマイナスになっています。人材確保のため他産業も早めに大幅賃上げを発表したり、新入社員の初任給の改定を決定したりと、獲得競争が厳しくなっています。定昇込みのグループ平均 6%ではなく、ベースアップ単体での 6%引き上げを要求します。  ・評価基準が不透明で、職場のコミュニケーションを悪化させる成果主義の賃金制度は、安全にも悪影響を与えるものであり、相対評価は 123 便事故後の最高経営会議方針にも反します。現場で良い評価を受けても相対評価で下がることもあり、基準が疑わしいため評価結果の労組への開示を求めています。 ・現行賃金制度は等級移行(昇格)がなければ2等級は40代で賃金頭打ちとなります。等級移行の遅れは年収格差に繋がります。上限に到達した場合は等級移行すべきです。 ・等級移行が進まず、3 等級頭打ちが多い職場では将来が不安になり、離職者も多くなります。職場間による格差は是正していくべきです。
(2)各種手当の増額･新設 ①全社員に対し以下の通り諸手当を支払うこと。 a 日曜祝日土曜出勤手当を 1,500 円支払うこと。 b 年末年始出勤手当を 10,000 円支払うこと。 c 深夜手当の割増率を 50%とすること。 d 時間外手当の割増率を 35%とすること。 e 住宅手当を支払うこと。 有扶養者 25,000 円 単身世帯主 10,000 円 f 家族手当を支払うこと。 第1扶養 10,000 円 第２扶養以降 5,000 円 g 屋外作業手当を 10,000 円支払うこと。 **【a～e は日航労連統一要求案】**	・物価上昇が続く中、通貨の価値は年々変化しています。長年同じ定額で支払われている手当は、現在の生活コストや労働環境を考慮し、見直しや改定が必要です。 ・年末年始手当は、以前は 9,500 円支給されていました。航空では年末年始が繁忙期となる職場が多く、世間水準を上回る手当があれば、多少は納得して働けます。 ・時間外手当の割増率がアップすれば、本当に必要な業務を担った人の手取りが増えます。逆に、割増率を上げることで管理側が個人の業務をこれまで以上に精査するようになれば、残業が削減され、結果として費用削減にもつながります。 ・住宅手当や家族手当は、JAL グループ内でも支給している会社があります。この制度を導入することで、就職活動中の学生からのイメージアップにもつながります。また、家族が増えれば出費が増えるのは当然です。手当があれば、安心して子育てに専念できるでしょう。 ・恒常的に外で働く人を対象に屋外作業手当を要求しています。航空従事者として高い意識を持つことを要求され、過酷な環境で働く整備士には必要な手当です。

②旧石油・寒冷地手当の支給基準に基づき暖房手当を支払うこと。	・政府による補助が縮小され灯油価格がまた上がっています。北海道では塾や習い事で月謝の他に「暖房費」を徴収されます。その暖房費も灯油価格により変動します。交渉で何度も伝えているとおり、北と南では生計費に差があることは明らかです。海外転勤の人選はスムーズに決定できるようですが国内転勤は敬遠されています。特に北国は負担が大きいため、その土地でかかる費用を考慮し暖房手当を支払うことを求めます。
③シフト手当を定額方式にして増額すること。 ④シフト手当の深夜時間帯の定額支給(1 万円加算)基準を深夜実働で 20 時間超の場合も支払うこと	・毎月のシフト手当は、恒常的に労働時間・休日をずらされて生活していることへの埋め合わせと捉えています。教育・訓練等の短い期間、シフトから日勤に変更されても手取りに影響がないように定額方式を求めています。 ・現在は所定勤務の深夜労働が月間 20 時間を超えたら1万円上乗せされるようになっていますが、所定勤務は 20 時間以下で S 勤務時の残業で深夜労働が 20 時間を超えても支給されません。JALEC は実働で支給されており、統一することを求めます。
⑤AFRS 資格手当は実施する会社毎に支払うこと。	・JALEC は 2025 年にグループ外収入割合 10%を目指しています。AFRS 資格者は、会社毎に異なる規定を覚えたり、本国への連絡があったり、大きな負担になっており、複数企業のハンドリングをするとルールを混同する危険もあります。それに見合った賃金制度として AFRS 手当の企業毎の支払いを求めていきます。
⑥一等航空整備士手当及び航空工場整備士手当の資格取得時、資格取得手当を 10 万円支払うこと。 ⑦確認主任者手当を増額すること。	・確認主任者手当が、1 機種目 10,000 円、2 機種目以降 5,000 円に減額される理由として、1 機種目の資格取得のハードルの高さや努力が含まれているとされています。しかし、資格行使に対して手当を支払うのであれば、資格取得時に一時金として 10 万円を支払い、1 機種目と 2 機種目以降の手当を同額に増額する方が納得感を得られます。 ・現在の手当額は、長い訓練期間中にシフト手当が支給されなくなる中、自分の時間を使って資格を取得する対価としては十分とは言えません。さらに、外航と比較しても手当額が低いことが知られており、手当の増額が必要です。
⑧運航管理者手当を 20,000 円に増額すること。 ⑨係長手当を支払うこと。	・運航管理者は、国家試験取得後も経験を積み、技量を高め続けます。他部門への異動希望や他社への流出の背景には、責任に対する手当の低さが一因と考えられます。ディスパッチ人財の流失を防ぐためにも手当の倍増を求めます。 ・JALI の賃金制度に係長手当はありませんが JALEC では支給されています。(係長・ユニットリーダー・ステーションリーダーに月額 2 万円) JALI では S1 に求められる役割に含まれていると説明していますが、役職に付くと付加業務が非常に増え、かなりの個人負担となっています。JALEC としては必要性を認めて制度があるのだから JALI としても制度を整えるべきです。
(3) 2025 年度夏期一時金は 3.1 ヵ月+10 万円支払うこと。 **日航労連統一要求案は「2025 年度の一時金は、夏と年末の合計で 6 ヵ月以上支払うこと」**	・本来、夏期一時金は夏闘の重点項目です。しかし、2025 年度は中期計画の最終年度であり、昨年の 3 月に 2025 年度までの業績連動の一時金係数が示されています。 ・今回の春闘アンケートで会社の提示している条件について尋ねたところ、「従来通り、夏と年末で最大限求めたい」が 40.6%、「業績連動には賛成するが係数を上げてほしい」が 28%という結果が出ました。私たちは業績に左右される期末手当の割合を低くし、夏と年末の一時金で安心して働ける水準を目指しています。日航労連では、この業績連動の仕組みを再考させるために、夏と年末で 6 ヵ月以上支払うことを要求します。 ・アンケートではこれまでどおり 25 年夏の一時金を聞いています。提示されているスキームでは夏は 2 ヵ月、年末は 2 ヵ月か 2.5 ヵ月のため、3 ヵ月以上を希望する回答が目立ちました。それでも極端に増えることはなく、今年も平均は 3.1 ヵ月となりました。 ・定額の平均値は 100 万円以上の回答が数件あったため上昇しましたが、今年も 10 万円が最多でした。係数とは別に定額を支払うべきという考えは定着してきています。 ・航空会社で働く魅力を高め、新卒で良い人材を獲得し、長く働いてもらうためにも一時金は重要です。その中でも定額部分は契約社員を含めたグループ全社員に反映させるべきです。昨年より係数を 0.1 ポイント上げ、夏に 3.1 ヵ月+10 万円の支給を目指し、年末にも要求を検討し交渉を継続します。

(回答数=%) 一時金係数

